

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市石川記念武道館	評価対象年度	平成22年度
事業者名	株式会社 明治スポーツプラザ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	幸区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		3,686	3,638	3,889	3,890	3,265	3,391	4,247	3,483	3,523	3,173	3,254	1,622
収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理委託費				15,300							
		利用料金収入				4,479							
		事業収入他				1,339							
		収入計				21,118							
	支出	管理運営費				17,505							
		支出計				17,505							
	収支差額				3,613								
サービス向上の取組	<p>利便性向上のため更衣の準備時間として入館時間を10分早め、退館時間は15分遅らせている。また、10枚分の料金(1,000円)で12枚セットの回数券を発行し、幸スポーツセンターでも利用できるようにしている。サービス向上指針を作成し、利用者に対して、おもてなしの心を持って接客すること、安全かつ、快適に利用してもらえるよう日常の清掃やメンテナンスを行うことなど、より良い接客サービスや、施設を提供できるよう取り組んでいる。</p> <p>武道館の利用案内を職員の手作りにより見やすさなど工夫改良し、作成した。</p> <p>空手、剣道、少林寺、柔道、合気道、なぎなたの寒稽古を行い、稽古終了後にはおしるこやお茶、お菓子などを振舞い、楽しさや充実感も感じてもらえるよう配慮している。</p> <p>近隣町内会の掲示板に教室の案内を掲示させてもらい情報発信を行うとともに、自社の直営スポーツクラブのインターネットホームページから石川記念武道館のホームページにアクセスできるようリンクを貼るなど、石川記念武道館のPR・認知度向上に努めている。</p>												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) 事業計画に基づき適切に施設の運営がなされている。 施設の使用方法が限られている中で、ヨガ教室等を武道場で開催するなど工夫して、武道館になじみのなかった層を取り込むことにより、武道館の認知度向上に努めている。				
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無きよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	4(0.8)	4
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	5(1.0)	5
	(評価の理由) 個人情報の保護については、アルバイトを含めた全ての職員に研修を行うとともに理解度を調べるためのテストを実施しており、教室申し込みなどの個人情報の扱いは特に厳重に管理されている。 剣道場の床が老朽化による磨耗のため毛羽立っていたものを、安全に使えるよう職員がペーパーがけを行い未然に事故防止を図るなど、適正な施設の維持管理に努めている。 利用者が快適に利用できるよう常に生理整頓され、施設の内外も清掃が行き届いており、事業計画に基づいた管理業務が実施されている。 3月11日の東日本大震災の際は、職員が冷静に対応し、全ての利用者の避難誘導を迅速、かつ安全に行い、日頃の訓練の成果が発揮された。また震災後の運営についても計画停電等の状況を考慮しながら利用者の混乱を招くことのないよう適切に対応を行った。				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業が実施しているか。	5	3(0.6)	3
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	広報活動	施設利用促進及び生涯スポーツ振興を図るための広報活動が成されているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 事業計画に基づいた事業の実施がなされている。 幸スポーツセンターと一緒に市政だよりへの教室案内掲載や、スポーツセンターニュースなどによる施設の情報発信を行っている。					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか。	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 消耗品等物品購入の際は、幸スポーツセンター分とまとめて購入することなどにより、経費の節減と、適正な予算の執行に努めている。 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行していると評価する。					

4. 総合評価

評価点合計	63	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。また、近隣中学校の職業体験を受け入れるなど、社会的役割も積極的に果たしている。

地域の武道振興を担う施設として、武道活動の場を提供するとともに、ヨガ教室など武道以外の運動プログラムを実施することで武道館に無縁であった市民を取り込み運動機会の提供と、武道館の認知度向上に努めていると評価できる。

個人情報の保護については、プライバシーマークの認定を受けていることもあり、正社員のみならずアルバイトを含めた全ての従業員に研修と理解度のテストを実施し個人情報の扱いに努めている。また、事務室には個人情報の扱いについての規定を常時掲示しているとともに、定期的に本社から個人情報についての社内報が発行され送付されるなど個人情報保護の啓発に力を入れており、教室などの申し込み書に記載される個人情報は特に厳重に管理されている。

早朝、夜間など万一の際には、施設の近隣に住む職員が鍵の開閉を行えるよう、緊急時にも対応が取れる体制が確立されている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

施設の老朽化による問題も発生しているが、施設利用に支障をきたさないよう引き続き丁寧な維持管理を行うこと。

各武道団体と連携を図り、公平で平等な利用を確保するとともに、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営と経費節減に努めること。

施設・機能の一層の有効活用に留意し管理運営・事業展開を図るとともに、地域の活性化、高齢化対応、子育て支援、障害者スポーツ振興、健康都市づくりなどの行政課題の解決にも留意し、事業展開を図ること。

稼働率が低い平日昼間の時間帯の利用促進について、武道以外のスポーツの利用についても検討し多彩な教室の展開や、ホームページを充実させることによる情報発信、施設の広報・PRに努めること。また、市民アンケートなどを実施し要望を取り入れるなど、より一層の施設の有効活用を推進すること。